

「危険な暑さに思う」

学校長 金子 正人

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が戻ってきました。きっと普段できない体験を重ね、心も体も一回り大きくなったことでしょう。

8月に参加した研修会で、SDGSについて学ぶ機会がありました。SDGSとは、2015年「国連持続可能な開発サミット」で採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のことです。1) 貧困をなくそう 6) 安全な水とトイレを世界中に 8) 働きがいも経済成長も 13) 気候変動に具体的な対策をなど17の目標があり、先進国を含む国際社会全体の目標として設定されています。横浜市は平成30年に国から「SDGS 未来都市」の選定を受け、市を挙げてこの取組を行っています。

昨今、夏の暑さが厳しくなり「災害級の暑さ」「生命の危険を感じる暑さ」などと言われるようになり、連日熱中症で救急搬送され、命を落とす人のニュースも報道されています。

学校にも「熱中症対策ガイドライン」という冊子が配付され、熱中症による事故防止のために細心の注意を払うようにしています。夏休み中の水泳が暑すぎて中止になったのも、こうしたガイドラインに沿った対応をしているからです。

環境省のホームページに「2100年 未来の天気予報」という動画が掲載されています。各地の最高気温が40度を超え、風速90mのスーパー台風が来襲するといった内容です。このまま地球温暖化対策が進まなかった場合、2100年には地球の平均気温が最大で4.8度上昇するという予測のもとで作成された架空の天気予報ですが、昨今の状況を考えて、決してありえない話ではないように感じます。

2100年は遠い未来のことと思われるかもしれませんが、今年10歳の子どもたちが91歳まで生きれば2100年は確実にやってきます。つまり、子どもたちが生きている間にこのような状況になる可能性があるということです。

最悪のシナリオを避けるためにも、地球温暖化防止に努め、持続可能な世界をつくるのが私たち大人の責任ではないでしょうか。将来子どもたちが安心して生活できるように、今私たちにできることを地道に積み重ねていきたいと思えます。

【お知らせ】

学校のホームページをリニューアルオープンしました。これまでとURLが変わりますので登録されている方は変更をお願いします。学校からの緊急のお知らせ等は「メール配信」と「ホームページ」による告知になります。また、しばらく中断していた日々の教育活動を写真入りで紹介する学校日記も再開します。（毎日ではありませんが、なるべく頻繁に更新する予定です）こちらもぜひご覧ください。